平成6年4月1日現在

分類項目 ＼ 学校種別				
建築構造	耐火構造	497	225	722
	木造	56	20	76
警備の状況	宿日直代行	10	8	18
	巡回	7	5	12
	機械警備	498	221	719
	無人化	38	11	49

※市立養護学校は中学校に含む。

6 へき地対策

(1) へき地学校の状況

① へき地学校

教育事務所 ＼ 級地		4級		3級		2級		1級		準1級		特地		教育事務所指定		計	
		本校	分校	本校	分校	本校	分校	本校	分校	本校	分校	本校	分校	本校	分校	本校	分校
小学校	県北							6	2	2		1		16		25	2
	県中				2	4	2	17	8	7	1	11		19		58	13
	県南			1	3	2		7		2		1		5		18	3
	会津		1	1	1	5	1	13	1	5	1	2		9		35	5
	南津			1		3	3	7	3	2	1	3				16	7
	相双					3	1	6	1					4		13	2
	いわき		1			3	2	8	2	1		1		8	1	21	6
	計		2	3	6	20	9	64	17	19	3	19		61	1	186	38
中学校	県北							3						5		8	
	県中					1		4		5		3		4		17	
	県南							1		1				2		4	
	会津			1	1	2		8		1				4		16	1
	南津			1		2		4		2		1				10	
	相双					2		3						1		6	
	いわき					3		7		1				3		14	
	計			2	1	10		30		10		4		19		75	1
総計			2	5	7	30	9	94	17	29	3	23		80	1	261	39
			2		12		39		111		32		23		81		300

② 級別へき地学校数、学級数、児童生徒数、教員数

小中別 ＼ 項目 ＼ 区分 ＼ 級地	小学校 学校数 本校	分校	計	児童数 本校	分校	計	学級数 本校	分校	計	教員数 本校	分校	計	中学校 学級数 本校	分校	計	生徒数 本校	分校	計	学級数 本校	分校	計	教員数 本校	分校	計	合計 学校数 本校	分校	計	児童生徒数 本校	分校	計	学級数 本校	分校	計	教員数 本校	分校	計
4地		2	2	0	17	17	0	6	6	0	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	17	17	0	6	6	0	6	6
3地	3	6	9	121	40	161	10	12	22	20	12	32	2	1	3	44	6	50	6	2	8	17	5	22	5	7	12	165	46	211	16	14	30	37	17	54
2地	20	9	29	1,185	97	1,282	87	21	108	157	20	177	10	0	10	514	0	514	27	0	27	80	0	80	30	9	39	1,699	97	1,796	114	21	135	237	20	257
1地	64	17	81	5,626	228	5,854	354	34	388	592	37	629	30	0	30	2,785	0	2,785	120	0	120	315	0	315	94	17	111	8,411	228	8,639	474	34	508	907	37	944
準地	19	3	22	2,461	46	2,507	125	6	131	198	7	205	10	0	10	1,301	0	1,301	50	0	50	121	0	121	29	3	32	3,762	46	3,808	175	6	181	319	7	326
特地	19	0	19	2,293	0	2,293	120	0	120	203	0	203	4	0	4	981	0	981	31	0	31	69	0	69	23	0	23	3,274	0	3,274	151	0	151	272	0	272
教育事務所指定	61	1	62	7,773	41	7,814	389	3	392	635	3	638	19	0	19	4,030	0	4,030	134	0	134	286	0	286	80	1	81	11,803	41	11,844	523	3	526	921	3	924
合計	186	38	224	19,459	469	19,928	1,085	82	1,167	1,805	85	1,890	75	1	76	9,655	6	9,661	368	2	370	888	5	893	261	39	300	29,114	475	29,589	1,453	84	1,537	2,693	90	2,783

(2) へき地教育の振興策

へき地の学校は、概して小規模であり、かつ分校も多いため複式学級が多い。従って教育条件の改善充実を図るとともに、へき地学校に優秀な教員を確保することが緊要である。

① へき地教育の人事行政

「平成7年度人事異動方針」1の2において、「教育の機会均等の理念に立脚し、各学校の教職員組織の充実と均衡に努めるとともに教育庁職員組織の充実を図る」ことを基本方針としてかかげ、これを受けて平成7年度小・中・養護学校教職員人事実施要項の[2]において「交流のための区分を設定し、すべての教職員を在職期間中に都市、平地、へき地の勤務を公平に経験させる」こととし、へき地と各地域との計画的な交流の推進を図った。

また、へき地派遣制度によるへき地派遣、へき地学校勤務で優秀な実績をあげた者の管理職への抜てきなどの施策もあわせて実施した。

ア へき地交流

(ア) 地域区分

県内の地域区分を次のとおりとする。